



発行
 社会福祉法人 旭川荘
 いづみ寮
 〒701-2155
 岡山市北区中原664-1先
 TEL 086 - 275 - 1816
 FAX 086 - 275 - 5646



いづみ寮芸術祭より (3面に関連記事)

「前を向こう」

施設長 秋山 哲生

令和の時代に入り、初めての桜咲く時期を迎えました。いづみ寮の桜の木も大変美しく春を迎えた喜びを全身で表しています。

本来であれば利用者皆さんと共に春を感じ、新年度を心新たに清々しい気持ちで迎えるはずでありましたが、今年はずいぶんきまません。

全世界で驚異的な感染拡大が続いている新型コロナウイルスにより我々の生活は一変してしまいました。我が国においても感染拡大が急速に高まり、全都道府県に緊急事態宣言が発出され、外出の自粛や店舗の営業自粛様々な分野での制限を余儀なくされています。岡山県においても更に警戒態勢を強化しなくてはならない状況です。

この影響は我々福祉施設においても同様であり、社会福祉法人旭川荘においては、政府における専門家会議から第一報が出る前から新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、情報によりその都度内容を改訂しながら方針を決め対応しています。

いづみ寮においても法人対策本部と連動し様々なリスクをシミュレーションし今日に至っています。ご利用者ご家族、業者の皆様はじめ関係の皆さま方には多大なご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。引き続きご不便をおかけすることとなりますがご理解いただきますようお願い申し上げます。

我々が経験したことのない未知のウイルスとの戦いは長期戦を覚悟しなくてはなりません。我々はご利用者ご家族、また職員、関係者すべての方々の安全を守らなければなりません。その一点に集中していきたいと考えています。

新年度を迎えるにあたり、どのような状況であれ我々は皆さま方とともに手を携え、前を向いて進んでいきたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。

家族の会から

役員会の開催(書面により実施)

令和元年度役員会は、令和2年3月15日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、一堂に会しての開催ができなくなりました。このため、異例の対応として、3月中旬に各役員による議題を書面により実施しました。

議題は

- 令和元年度いづみ寮家族の会活動報告
- 令和元年度決算書(見込)
- 令和2年度年間行事予定表(案)
- 令和2年度予算書(案)
- 役員改選案

で、審査の結果、過半数の賛成を得て、総会へ提案することになりました。

令和2年度の総会は、4月12日に予定をしていますが、新型コロナウイルス情勢は厳しく、5月に延期となりました。

- 当面、会員におかれては、感染防止対策として
- いづみ寮の方針に全面的に協力すること。
- 感染防止対策である
- 「換気の悪い密閉空間」
- 「多くの人が密集」
- 「近距離での会話や発声」

とこの三つの環境が重なるのを徹底して避ける。などを実施していただきたいと思えます。総会が無事に開催できることを期待しておりますが、新型コロナウイルス情勢の悪化がある場合は、書面による実施になることもあると考えられます。

研修報告

高瀬平藏

○ 共生社会フォーラム(令和2年1月22日(水))

場所 ビュアリテイマきび

厚生労働省主催、旭川荘等実施のフォーラムが150人参加して開催されました。

開会あいさつに続き、広島市を拠点とするNPO



した。

法人ひゅーるぼんは、障がいのある人と表現活動を行っており、2017年から、舞台芸術制作室「無色透明」と協働して、作品づくりと表現の場づくりに取り組み、多様な人が共に表現する活動を行っているなどと説明がありました。



香川の「でけでけ隊」は、支援学校の卒業生や関係者で「めざせよ(こい)参加」を各言葉に2007年結成され、お祭り大好き、踊り大好きで、高知のよさこい祭りや各地のイベントに参加しているもので、元氣な踊りの一端が披露されました。

一般社団法人スローコミュニケーション代表植草学園大客員教授野澤和弘氏から「かけがえのないのちの発信『福祉の思想の伝え方』」と題した基調講演、NHKチーフプロデューサー牧野望氏から、NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」と題し、報道映像や取材中の感想等について講演がありました。

このフォーラムに参加して、家族等が福祉や施設に頼りきりになるのではなく、地域社会や各種イベントにも障がい者と共に積極的に関わって、すべての人々が共に生きる社会、障がい者も輝いて生きる社会をつくるために具体的な行動を起こすことを本気で考え実行していってほしいと感じました。

○ 第22回家族会合同研修会(令和2年1月25日(土))

場所 岡山プラザホテル

研修会は、「ひとり一人の命を守る防災を考える」をメインテーマで開催されました。

いづみ寮家族の会からは、佐藤会長以下12人が参

加されました。

「岡山県の取り組み〜障がい者の避難計画作成について」と題し、岡山県保健福祉障害福祉課課長片山圭子氏が、また、「西日本豪雨災害から学んだこと」と題し、社会福祉法人リンク理事長永田拓氏が、さらには、「旭川荘における防災体制」と題し、旭川荘安全管理室防災顧問角田貞幸氏が講演されました。



強烈に心に響いたことは、豪雨災害が発生したとき、地域に住む障がい者の母子が福祉関係者との関係のみに頼り、地域とのつながりを持たず、地域の共助を受けることができず、母子とも死亡した事案の紹介でした。

個人情報保護が叫ばれ、地域の絆が壊れている中で、障がい者が帰宅中に災害が発生したとき、家族として自助努力はするものの、地域の共助が受けられるであろうかと不安が生まれました。

今後、ひとりでも多くの人に、参加していただき防災についても意見交換し、施設との関係は当然として地域との関係の深化を図ることが大事ではないかと考えさせられる研修会でした。



午後からは、懇親会が開催され、和やかに意見交換がされました。今回の研修会を担当いただきました「せと」旭川荘、いんべ通園センターの方々には厚くお礼を申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症は、全世界を恐怖の渦に巻き込んでいます。早期に収束することを、また、家族、職員、利用者などに感染することがないよう願いたいものです。

(編集委員 国重、高瀬)

節目を祝う会

1月28日(火)にいづみ寮ボプラ棟2階にて、ささやかではございますが節目を祝う会を開催し、今年度は還暦4名の方のお祝いをさせて頂きました。鏡割りや記念品の贈呈、寮長よりお祝いの言葉がありました。節目を

祝う会終了後には、カラオケ大会を行いました。各々好きな歌を歌われており周りからは手拍子や一緒に歌ったりと大変盛り上がり、お祝いムードの中会の終りとなりました。(内田)



第25回 いづみ寮芸術祭



土居登久夫さん
「飛行機」



通所グループ
「二年いそいそ」



3月3日(火)から3月25日(水)までの日程で第25回いづみ寮芸術祭が開催されました。今年度は全61作品の応募があり、期間中個性豊かな素晴らしい作品の数々が会場に展示されました。芸術祭の各賞は投票によ

って選ばれており、25日に表彰式を行いました。個人作品の部では、土居登久夫さんの「飛行機」が、グループ作品の部では通所グループの「二年いそいそ」が最優秀賞に選ばれました。(佐倉)

クラフト活動「でりゅ」



令和元年度より、毎週月曜日にクラフト活動を行っています。参加者の方それぞれが制作の過程で役割を持ち、和やかな雰囲気の中で楽しく生産活動に携わっています。ポチ袋や編み物等出来上がった商品は、荘内での行事や地域の

フリーマーケットで販売しています。購入された方より好評を頂いている商品もあり、参加者の方の意欲向上にも繋がっています。今年度も「楽しく」「やりがいをもって」参加していただけるよう頑張りたいと思います。(栗井)

土曜開所

1月25日(土)いづみ寮多目的ホールにてボランティア「かあさん文庫」による読み聞かせがありました。音楽に合わせたパネルシアター、大型紙芝居、大型絵本といった出し物を楽しみました。皆さん童心に帰ったようなキラキラした笑顔で鑑賞されているのが印象的でした。来年度もみなさんに喜んで頂けるよう、更に趣向を凝らした楽しい計画を立てていきたいと思っています。(海見)



研修報告

2月26日(水)、サービスセンターにて行われた「人権について考えるフォーラム in 旭川荘」に参加させて頂きました。この研修は、平成28年の相模原での事件を受け、障害のある人たちの「生命」存在の意味」について施設の枠を越えて考え、自分の言葉で言語化する力を育成することを目的とされた内容でした。研修では、デイセンターあかしやの寺町清一支援課長による講義の後、事前レポートを踏まえたグループワークとして、相模原事件に対する市民の声を讀んでどのような感情を持ったか、障害のある人との関わりの中での人権に関する自分の体験談の2つに関して発表しました。事件内容に対する衝撃が大きく、掘り下げて考えることがなかったため、この研修を通してより具体的に考えるきっかけとなりました。(山本)

お世話になりました 退職

- 大森あゆみさん(生活支援員)
- 佐々木香織さん(〃)
- 廣田佳子さん(〃)
- 易桃世さん(〃)
- 松浦恵子さん(〃)
- 堤陸代さん(〃)
- 妹尾由美さん(〃)
- 岸山恭子さん(世話人)
- 池増淳子さん(〃)
- 島村房枝さん(〃)
- 大森佐和子さん(〃)
- 片桐好子さん(〃)

お世話になりました 荘内異動



黒住 卓さん
この仕事の素晴らしさを教えて下さったご利用者の皆様、温かく見守って下さった家族の皆様と一緒に汗を流して下さった職員の皆様、全ての方々に感謝の気持ちで一杯です。新たな場所でも精一杯頑張ります。16年間本当にありがとうございました。



吉本信介さん
5年間お世話になりました。この4月よりいんべ通園センターへ異動となりました。ご利用者・ご家族の皆様から沢山のことを学ばせていただきました。ありがとうございました。



別處将洋さん
皆様がいづみ寮におられたからこそ、今現在の自分があると思っております。皆様と過ごした時間や思い出を胸に、新しい職場に旅立つことになりました。9年間、ありがとうございました。



渡邊くみ子さん
この度敬老園に異動することになりました。成人病ならず年々年齢を重ねた病気が増加していきす。健康の予防に努めて元気にお過ごしく下さい。3年間という短い期間でしたがありがとうございました。



生田浩之さん
2月24日付け退所
電ノ口寮へ

よろしくお願ひします



支援主任
今川俊彦さん



支援主任
内堀康寛さん



生活支援員
若林勇太さん



生活支援員
河村奈々香さん



生活支援員
チャン ティ フォンさん



看護師
今西典子さん



看護師
小畠彰子さん



生活支援員
藤原由智さん



生活支援員
矢山 瞳さん



世話人
高橋順子さん



世話人
奥野弘康さん



世話人
美千代さん

行事予定について

新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事等は中止、規模を縮小しての実施が続いています。再開できる状況になりましたらお知らせいたしますのでご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。